

酒蔵の道を牧野富太郎と坂本龍馬の甥坂本直寛と一緒に歩いていた！

2023年5月25日、ふるさと佐川町に、高知県立坂本龍馬記念館の前田由紀枝さんをお招きし、講演会を開催させていただきました。

会場は国の登録有形文化財で、酒造業を営んでいた竹村家の分家「竹村分家旧竹村呉服店」の2階。（牧野博士ご存命の頃は質屋や呉服、雑貨商を営んでいました。現在は1階が雑貨「キリン館」と、喫茶「まるきゅう」）

こちらの会場は、朝ドラ「らんまん」に繋がる源流の一環とも言える空間です。2017年、鎌倉在住の洋画家中西繁さんが作品展を開催された際、店主である岡崎修一さんが青山文庫にご案内。中西さんは「佐川町は牧野が生まれた場所なんです！」と感激され、その後「牧野富太郎博士の残した功績ははかりきれない。彼の認知度を高めるために映画をつくりましょう！」ということに。結果、資金集めなどが困難で映画制作は断念されましたが、その後の「朝ドラに牧野富太郎を」の会発足の流れに繋がっていました。私達もこの空間で、2018年12月2日に「Jスエコザサ」の歌・演奏・プロモ映像を発表させていただいたり、署名用紙を置かせていただくなど、大変お世話になりました。今回、朝ドラ「らんまん」ふるさと編が終わってから、今までのお礼に企画させていただいたのが、この講演会でした。

ふるさと編で、ディーン・フジオカさんが演じられた坂本龍馬は、幼い日の万太郎（牧野博士がモデル）を励ます重要な役。実際には富太郎と龍馬は会ってはいませんが、浪漫あるストーリー展開にしました！



龍馬と言えば、高知県立坂本龍馬記念館の前田由紀枝さんがお詳しいですが、実は前田さんのお母様は佐川町のご出身で句集も出版していらっしゃる風流人。「私は高知市生まれの高知市育ちですが、母は佐川町生まれですので、常々佐川ハーフと名乗っています。子どもの頃から植物が好きで、牧野博士に憧れていました。小学校の自由研究は、伯母に連れられ、青山文庫で学びました。牧野公園には植物採取しながら祖父と出かけた。などと教えていただきました。」

■講演内容は、

- 1 牧野富太郎5歳の時、龍馬は何をしていたか。
- 2 自由民権家としての牧野。坂本直寛との関わり
- 3 牧野と中濱万次郎
- 4 牧野と盟友土居磯之助

「牧野博士は龍馬には会ってはいませんが、本もたくさん読んでいましたし、当時の民権家たちからも、当然龍馬のことは聞いていたと思います。青年牧野が民権運動にのめり込んでいた頃には、龍馬を主人公にした『汗血千里の駒』明治16年高知で発行されていた土陽新聞で連載」が大ヒットしていました！

また、前田さんは、これからの佐川町の大きな観光資源となるようなことを、実にサリリと話してくださいました。「坂本直寛は自由民権家でしたので、彼が佐川で遊説した際、この酒蔵の道を富太郎が直寛を案内して歩いていたと思います」と！直寛の姉の嫁で民権家の土居磯之助とも盟友で一緒に写っている写真を見せてくださった。直寛の孫で「チョッコウさん」の愛称で呼ばれる画家、坂本直行が花々を描く際には、牧野博士の植物図鑑を参考にしていた。などなど、牧野博士と坂本家の関係についての興味深い話は尽きませんでした。

前田さんは最後に、「酒蔵の道の重要な建築物の老朽化を、今こそ真剣に考えないといけないと思います」と、一段と熱い口調で話を締めくくられました。この「酒蔵の道」は、朝ドラ「らんまん」効果もあり、佐川町だけに留まらず、高知県、日本の大切な文化遺産になりました。何かしら大きなうねりが起こることを期待しています。（文・松田雅子）



2階や外蔵ギャラリーでは時々、展覧会や展示会
少人数での講演会や演奏会なども
開催されています。
佐川にいらっしゃった時は
お気軽にお立ち寄りください。



雑貨「キリン館」、喫茶「まるきゅう」
〒789-1201 高知県高岡郡佐川町甲1300
営業時間 10:00～18:00
定休日 火曜日
電話：0889-22-9160

sue

キリン館で見つけたアロマオイル「sue」。この日は会場準備、後片付けとバタバタしていましたが、終始フワツとした優しい香りが包んでいてくれました。好きな香りを選んで帰って、早速バスタイムに使用。浴槽に数滴垂らしただけで、1日の疲れがスーッと抜けていくようでした。



「牧野富太郎博士の妻、寿衛さんのように、隣にいる人を想い、誇りを持って邁進している人たちにお届けできれば」商品開発コンセプトも素敵♡お土産にも喜ばれますね！

牧野富太郎博士が佐川に里帰り。牧野博士胸像除幕式 in 牧野公園



稲垣典年会長



佐川さくら・シニア合唱団



片岡雄司町長（胸像右）等と記念撮影



佐川町奥の土居に在る古城山の一角、牧野富太郎博士ゆかりの植物を愛しめる公園として整備されている牧野公園に令和5年5月28日、牧野博士の胸像が設置されました。この企画は昨年2月2日、朝ドラ「らんまん」の放映が決定した事を契機に高知県内の彫刻家、植物愛好家らが発起し、今年1月「牧野富太郎博士の胸像を生誕地に建てる会」（会長・稲垣典年 事務局長・吉岡郷継）を立ち上げ募金活動を開始。1000人以上の方々から制作費250万円を超える30万円ほどを集め実現に至ったものです。

除幕式はテレビ高知の元アナウンサー、藤崎靖啓氏の司会で進行。佐川さくら・シニア合唱団が朝ドラ「らんまん」の主題歌、あいみよんの「愛の花」を披露後、稲垣会長が挨拶。「らんまん」をきっかけにして牧野博士とその地域の人々との関係性を掘り起こす企画展が全国各地の植物園で開催されていることを報告しました。また、牧野公園や牧野博士の聖地を歩く道をしっかりと手入れすること、牧野博士ゆかりの県外各地の方々との交流が生まれてくる可能性にも言及しました。

除幕式は、片岡雄司佐川町長、濱田陽治佐川町教育長、大山瑞さか観光協会会長、募金呼びかけ人代表の島田信雄氏（最御崎寺前住職）、彫刻家の大野良一先生、書家の和泉蒼牛先生、佐川さくら・シニア合唱団代表の志手清晴氏、牧野公園はなもりC・L・O・V・Eの田村一水氏が参列。現れたやさしい笑顔を湛えた牧野像に参集した約50人から盛大な拍手が湧き起こりました。

この胸像は今から85年前の昭和13年、博士が最後に帰郷した76歳時の写真を参考に、仁淀川町在住の大野良一先生と高知市在住の吉岡郷継事務局長の二人の彫刻家が共同作業で作ったもので、台座には「あるいは草木の精かもしれん」という博士の言葉が刻まれました。設置場所は牧野博士の御両親や祖母浪子の眠る墓所と牧野博士の墓所との中間、佐川の街並みや博士が頻りに訪れた横倉山を望む牧野公園の中腹に位置しています。帰郷した牧野博士はきっとこの場所に立たれたことでしょう。

大野良一先生は除幕後の胸像解説のなかで次のように述べました。「この像が造られたのは、植物を好きな皆さん一人一人の力の結集。稲垣典年さんを敬愛する仲間が力を合わせてくれたおかげです。大きなスポンサーがなくてこんなにスムーズにできることはめずらしいと思う」、「共同制作者の吉岡さんとは、みせかけの像ではないもの、蜚人形や漫画チックな似せ方ではないもの、必要な所へ必要な粘土を置いて深く表現をする、そういう本格的な彫刻を造ろうというところから出来上がった」

経過事業報告を行った吉岡郷継事務局長は「今日は稲垣さんが指導してこられた室戸市や三原村、四万十市からもお出でいただいています。1000人以上の方々から募金をいただいたのは、牧野さんの人気、「らんまん」の追い風があった。そして地元のご協力もいただき、そういうことが全部重なり予想以上の募金が集まりました。ですからこれを活用して牧野博士が喜ばれる顕彰活動を今から考え、もうひと仕事して我々の会から皆様に御報告しなければいけない」と述べ決意を新たにしました。



vol.4「らんまん」おもしろいですね！今回も地元の熱い動きをご紹介します！

*2023年6月発行 *企画・制作・発行・デザイン／朝ドラ「らんまん」を応援する会
〒789-1201 高知県高岡郡佐川町奥の土居 市川方 kawazumakeruna@bell.ocn.ne.jp



当日のセレモニーの様子は
こちらからご覧になっただけです。



牧野博士胸像を共作した大野良一先生（右）と
吉岡郷継事務局長

「生誕161年 牧野富太郎博士 生誕祭(佐川)」に、約7000人！

今年は、朝ドラ「らんまん」の効果も絶大！生誕祭、すごい人でしたね！
牧野富太郎博士の誕生日は、1862年4月24日ですが、今年は規模を拡大し、22日〜24日まで様々な企画（生誕祭実行委員会による）で、博士のふるさとが盛り上がりました。取材も熱く「@NHK高知NEWSWEB 牧野富太郎博士の生誕祭 出身地の佐川町で始まる」@高知新聞「らんまん」で規模拡大！牧野博士生誕祭にぎわう25000人が音楽や飲食満喫4/24まで高知県佐川町「@KUTVテレビ高知「牧野富太郎博士お誕生日おめでとう」161回目の誕生日祝い生まれ故郷で生誕祭「高知・佐川町」などでも紹介されました。



今年は上町の歩行者天国エリアや牧野公園に雑貨やワークショップ、飲食やカフェなどデントがずらり！魅力あふれる35店舗がお客様をお迎えしました。ディーン・フジオカさんが演じられた坂本龍馬さんの「旨かった」効果もあり、このイベントに合わせて復活した「山椒餅（くろがね家と佐川高等学校）」も長蛇の列を作っていました。なんと！初日400個が30分で完売。2日目の180個もあつという間に売り切れたそうです。※注：現在は製造されていません。

「スエコザサ」うれしい一人歩きに感謝！



スエコザサ 朗読〜演奏
東京都練馬区立牧野記念庭園にて

- 2018年 4月 牧野富太郎生誕祭（高知市立自由民権記念館ホール）
- 2018年 7月 「朝ドラに牧野富太郎を」の会発足式（佐川町名教館 演奏映像披露）
- 2018年 12月 シネマの食堂「竹村分家旧竹村呉服店」の2階。現在は1階が雑貨「キリン館」と、喫茶「まるきゅう」
- 2019年 9月 五台山観月会
- 2022年 4月 牧野富太郎160年生誕記念（越知町 横倉山自然の森博物館）
- 2022年 12月 〜Thanks for MAKINO〜4年間に感謝！（高知市立自由民権記念館ホール）
- 2023年 2月 東京都練馬区牧野富太郎記念庭園
- 2023年 3月 「牧野博士の新休日〜らんまんの舞台・高知〜」オープニングイベント（高知県立牧野植物園）
- 2023年 5月 DKG コンサート 再会の喜び〜新たな希望へ 歌とともに〜（高知県立美術館ホール）



牧野植物園「牧野博士の新休日」オープニングイベント 輪音「スエコザサ」

朝ドラ「らんまん」の面白いところは「牧野富太郎博士はもともと凄いです、彼を生かした周りの人たちが凄い！」と、その一人ひとりが実に丁寧に描かれているところではないでしょうか？中でも妻・寿衛さんをモデルとした寿恵子さんが、これからどんな風に描かれてゆくのか楽しみでなりません。

2018年から牧野博士ゆかりの場所で演奏させていただき、「スエコザサの聖地」とも言うべき東京都練馬区「牧野記念庭園」で、牧野博士の曾孫でいらつしやる牧野一淳（かずおき）さんに見守られながらフィナーレ演奏させていただいた感動は、生涯忘れられないと思います。

ありがたいことは、その後様々に形を変えて、うれしい一人歩きが始まったことです。フルートやピアノでの演奏、そして、朗読！ご縁をいただき、東京フィルハーモニー交響楽団のさかし矢波さんにも演奏していただきました。よろしくければ是非！



DKG コンサート
再会の喜び〜新たな希望へ 歌とともに〜



草花で作った巨大なパースデーケーキ

牧野公園花見棟では、佐川び人連による野山の草花を使ったリース・スワッグ・ガーランドなどの展示が（写真上）。また、木漏れ日の中行われた「緑の共演」、牧野公園はなもりC-LOVEによる苗販売やコケ玉ワークショップも気持ちのいい雰囲気を作っていました。



「若い頃、音楽にも夢中だった牧野博士！音楽でお誕生日をお祝いしよう！」というコンセプトの「まちかど音楽会」も好評でした。坂野志麻さんのアコーディオン、大目真希さんのオカリナ、RRyusuque（リュウスケ）さんのハンドパン、そして、2台の明治時代の珍しい池内風琴を持参してくださった、オルガンの中村証二さんの演奏も。きっと博士も空の上、きのこ踊りで喜んでくださったことでしょう！



「らんまん見てます！」街の声を集めてみました！
朝ドラ「らんまん」が始まってからずっと会う人会う人に感想を聞いて回って、動画を撮影させていただいております。気がつけば編集しきれないほど溜まってしまったので、まずは「前編」として、アップさせていただきます！ご協力くださった方々、この場をお借りして、どうもありがとうございました！



牧野博士ゆかりの植物を楽しめる牧野公園づくりの実現に長年に渡り尽力され、また、「牧野富太郎の歩いた道」の整備にもご指導いただいている稲垣典年先生、竹田恒夫先生（写真下、左）が佐川町から功労者として表彰されました。表彰式後は牧野博士生誕祭恒例の牧野公園散策が稲垣先生のガイドで行われました。参加者からも「植物に対する認識が深まり、植物の世界と交流できるのを楽しみました」といううれしい声が。

移転 OPEN いたしました！
店内はもちろん、窓から見える風景、駐車スペースも広々として気持ちいい、新しい霧生園をよろしくお願いたします。

自社の約 10,000 m²の畑で、4,000 本のブルーベリーを栽培。そのブルーベリーをふんだんに使った濃厚なブルーベリースイーツの数々。地元が誇る濃厚「吉本牛乳」を使用した「地乳ソフトクリーム」は、そのままでも美味しいのですが、霧生園自慢のブルーベリースソフトとのミックスも最高ですよ！

ブルーベリーがゴロゴロ入ったジャムやギフトセットも、お土産に是非！

kiriyuen_sakawa
https://instagram.com/kiriyuen_sakawa?igshid=YmMyMTA2M2Y=